

2009年3月期 中間決算概要（連結）

1. 業績の概況

(単位:億円)

区 分	2008年度 上期実績 A	2007年度 上期実績 B	増 減		2007年度 通期実績
			金 額 A - B	% A/B*100	
営業収益	4,392	3,608	783	121.7	7,417
高速道路事業	4,183	3,426	757	122.1	6,995
(料金収入)	2,958	3,115	157	94.9	6,043
(道路資産完成高等)	² 1,225	310	915	394.8	³ 952
休憩所事業	133	131	2	101.8	252
その他(関連)事業	74	51	23	146.5	168
営業費用	4,203	3,354	849	125.3	7,237
高速道路事業	4,034	3,225	808	125.1	6,895
休憩所事業	91	77	13	117.9	167
その他(関連)事業	78	51	26	151.2	174
営業利益	188	253	65	74.2	179
高速道路事業	149	200	51	74.4	100
休憩所事業	42	53	11	78.8	84
その他(関連)事業	3	0	2	-	5
経常利益	198	255	56	77.7	189
中間(当期)純利益	117	151	33	78.0	109

- 1 実績金額は、億円未満の端数を切り捨てて表示しております。
- 2 2008年上期実績の道路資産完成高等には、原油価格の高騰に伴う緊急対策としての高速道路料金の引下げによる国からの負担金(61億円)を含みます。
- 3 2007年度通期実績の道路資産完成高等には、料金社会実験等に伴う国からの負担金(37億円)を含みます。

(注)事業内容の種類、性質等の類似性、損益集計区分及び関連資産に照らし、以下のように事業区分を行っております。

事 業	業務内容	
高速道路事業	建設事業	高速道路の新設、改築
	保全・サービス事業	高速道路の維持、修繕、災害復旧その他の管理
休憩所事業	高速道路内におけるサービスエリアの建設、管理及び運営	
その他(関連)事業	受託事業、トラックターミナル事業、占用施設活用事業、物販事業、旅行事業、海外事業、カードサービス事業等	

2. 通期見直し

(自 2008 年 4 月 1 日至 2009 年 3 月 31 日)

(単位:億円)

区 分	2008 年度 計画 A 2	2008 年度 通期見直し B	増 減		2007 年度 通期実績
			金額 B - A	% B / A * 100	
営業収益	8,404	8,051	353	95.8	7,417
高速道路事業	7,844	7,604	240	96.9	6,995
(料金収入)	5,897	5,788	109	98.2	6,043
(道路資産完成高等)	1,947	1,816	131	93.3	3 952
休憩所事業	265	250	15	94.3	252
その他(関連)事業	295	196	99	66.4	168
営業費用	8,325	8,010	315	96.2	7,237
高速道路事業	7,831	7,610	221	97.2	6,895
休憩所事業	191	194	3	101.6	167
その他(関連)事業	303	207	96	68.3	174
営業利益	79	40	39	50.6	179
高速道路事業	13	6	19	-	100
休憩所事業	74	56	18	75.7	84
その他(関連)事業	8	10	2	125.0	5
経常利益	66	54	12	81.8	189
当期純利益	39	32	7	82.1	109

1 端数処理の関係で計が合わないことがあります。

2 2008 年度計画における高速道路事業の料金収入及び営業費用は、政府の「安心実現のための緊急総合対策」等を踏まえ、物流の効率化、地域活性化を目的に料金割引を行うために、平成 20 年 10 月 7 日付けで(独)日本高速道路保有・債務返済機構との間で締結した変更協定(「高速自動車国道中央自動車道富士吉田線等に関する協定」)上の数値を記載しています。

なお、休憩所事業、その他(関連)事業は、チャレンジ に基づくものです。

3 2007 年度通期実績の道路資産完成高等には、料金社会実験等に伴う国からの負担金(37 億円)を含みます。

(参考) 主な経営成績の推移

(単位:億円)

	第 2 期中間期	第 3 期中間期	第 4 期中間期	第 2 期通期	第 3 期通期
営業収益	3,396	3,608	4,392	6,902	7,417
営業利益	300	253	188	188	179
経常利益	302	255	198	201	189
当期(中間)純利益	171	151	117	116	109

3 トピックス

(1) 高速道路事業

(実施した施策)

7月5日に東海北陸自動車道(飛騨清見IC~白川郷IC 24.9km)開通
7月18日に東海北陸自動車道(瓢ヶ岳PA~郡上八幡IC 8.3km)4車線化

(中間期実績)

中間期の高速道路事業の営業収益は4,183億円(前年同期比22.1%増)、営業利益は149億円(25.6%減)を計上。要因は以下のとおり。

増収要因は、東海北陸道(飛騨清見~白川郷)完成などにより、道路資産完成高が増加したことによるもの。
減益要因は、ガソリン高や景気後退に伴い、交通量が減少し、料金収入の減収によるもの。

(通期見通し)

2009年3月期の高速道路事業の営業損失は6億円となる見通し。要因は以下のとおり。

次のような季節的な要因により、通期の営業利益は中間期より小さくなる傾向。

- ・ 収益は、ゴールデンウィーク、夏休みなどを含む上期と比較して、下期の料金収入が少ない。
- ・ 費用では、雪氷対策や集中工事などの影響を受け、上期に比較して下期の費用が多い。

景気後退に伴う交通量の減などにより、料金収入は対前年比で大幅減となっており、コスト節減による費用の抑制等に努めているものの、通期の営業利益は中間期から大幅に減少し、営業損失は6億円となる見通し。なお、経常利益でみると、4億円となる見込み。

(2) 休憩所事業

(実施した施策)

「より快適」「より便利」「より楽しい」サービスエリアの創造に向けて、「標準化」「個性化」を目指した取組みを実施。

「標準化」

コンビニエンスストア4店舗¹、セルフカフェショップ3店舗²、ファーストフード2店舗³を新規オープン。

- | | | |
|---|--------|-----------------|
| 1 | 東名高速道路 | : 中井PAⓄ |
| | 中央自動車道 | : 辰野PAⓄ、中央道原PAⓄ |
| | 北陸自動車道 | : 北鱈江PAⓄ |
| 2 | 東名高速道路 | : 上郷SAⓄⓄ |
| | 名神高速道路 | : 養老SAⓄ |
| 3 | 中央自動車道 | : 屏風山PAⓄ2店舗 |

「個性化」

地域店など2店舗をリニューアルオープン。

- 神坂PAⓄ ……地域店の誘致【馬籠と湯舟の里】
中井PAⓄ ……蕎麦専門店

(中間期実績)

営業利益は、昨年度比21.2%減となる42億円を計上。

(通期見通し)

2009年3月期の営業利益は、昨年度比33.3%減となる56億円となる見通し。

(3) その他のトピックス

【ベトナム駐在員事務所の開設】

当社は、2008年新経営計画「チャレンジV」に基づく海外事業展開の第一歩として、当社の初の海外拠点となる「ベトナム事務所」を12月にベトナム国ハノイ市に開設しました。

今回の事務所開設は、昨年11月にベトナム道路公社（VEC = Vietnam Expressway Corporation）と取り交わした情報交換・人的交流・関係強化に関する覚書に基づき、当社より駐在員をベトナムに派遣することにもなうものです。

当社はすでに、今年7月に社員をハノイへ派遣し、VEC職員を対象にした道路マネジメント研修などを実施していますが、今年、ベトナム事務所を開設することにより、当社とVECの一層の関係強化が期待されます。

なお、12月8日にはハノイ市内において、関係機関を招いて開所式を行いました。

《ベトナム事務所概要》

名称： 中日本高速道路株式会社 ベトナム事務所
所在地： ベトナム国ハノイ市 VEC庁舎内
駐在員： 1名

上記2通期見通し、3トピックス中の業績予想（通期見通し）は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要素により、上記計画数値と異なる可能性があることをご承知おきください。

以上